
XML コンソーシアム、NewsML を利用した

Web サービスの接続実験に成功

XML コンソーシアム（会長：鶴保証城 NTT ソフトウェア株式会社代表取締役社長、会員数 241 社：2002 年 5 月 31 日現在）は、複数のニュースソースから必要なニュースを検索し、情報を集約する実用に即したコンテンツ指向型のサービスを異なるアプリケーションサーバ間で Web サービス技術を利用して実現し、その接続実験に成功しました。これにより Web サービスがこれからのインターネット標準として位置付けられることを証明しました。

接続実験では、複数のアプリケーションサーバによって、複数の(仮想)新聞社/通信社を想定したニュース検索サービスや気象情報提供サービスを Web サービスとして構築しています。構築された各サービスはニュース検索用のポータルサイトに集約されます。各 Web サービスは、入力された検索条件にしたがって検索結果をポータルサイトに返し、記事一覧として集約して表示されます。記事一覧から記事を選択すると画像データを含む記事の詳細内容と当日の気象情報が表示されます。その際、記事の詳細情報は Web サービスを用いて NewsML データが送信され、同じく Web サービスを用いて送られたスタイルシートに基づき、各種の表示形式を自動的に変更して表示させることができます。さらに、NewsML で実際に使われているサブジェクトコードと呼ばれる世界で統一されているニュースの分類コードを用いて検索をすることも可能です。

本接続実験には XML コンソーシアム応用技術部会の主導のもと、(株)東芝、日進ソフトウェア(株)、日本アイ・ピー・エム(株)、日本オラクル(株)、日本電気(株)、日本ユニシス(株)、(株)野村総合研究所、(株)日立製作所、PFU アクティブラボ(株)、富士通(株)、リコーシステム開発(株)の 11 社が参加し、以下のアプリケーションサーバ製品を使用しました。

Apache AXIS Beta 1

BEA WebLogic Server 6.1J

Fujitsu INTERSTAGE Application Server V4.0L20

Hitachi Cosminexus Version 5

IBM WebSphere Application Server 4.0

IONA Orbix E2A XMLBus Edition 5.1

Microsoft Visual Studio .NET

NEC ActiveGlobe WebOTX Ver4.2

Oracle9i Application Server Release2

さらに、今回の接続実験の成果をふまえて、6月13日に行われる「XML コンソーシアム WEEK」にて、成果の技術発表とデモンストレーションを行ないます。

今回接続実験で使用されたコンテンツは、(社)共同通信社、(株)毎日新聞社、(株)読売新聞社、(株)気象サービスの協力のもと、実際に使われている NewsML データ等を用いて構築しました。これにより、NewsML が Web サービス上の情報伝達として有用であることも併せて検証されました。

Web サービスとは

Web サービスとは、アプリケーションの機能をモジュール化し、Web 上のサービスとして提供するテクノロジーで、XML (Extensible Markup Language)、SOAP (Simple Object Access Protocol) : XML Protocol、WSDL (Web Services Description Language)、UDDI (Universal Description, Discovery and Integration)といった Web の標準テクノロジーを基盤として実現されます。提供された Web サービスは、ネットワークを通じて他のアプリケーションやシステムの一部として統合でき、また、Web サービスそのものをネットワーク上で検索・発見して、ダイナミックに結合しシステムを構築することも可能となります。アプリケーションが、他の Web サイトにあるアプリケーションの機能、すなわち Web サービスを利用できることが、人間を相手にすることを前提とする Web アプリケーションと違うところであり、これにより、インターネット上のビジネスに大きなインパクトを与える可能性が期待されています。Web サービスが、インターネット上で安心して使える基盤が整い、多くのプラットフォーム間で相互接続できるようになることが、Web サービス普及のカギとされています。

NewsML とは

NewsML は、XML ベースのニュース交換のためのフォーマットとして、国際新聞電気通信評議会 (IPTC) が 2000 年に仕様を策定しました。国内では日本新聞協会 (NSK) 主導

のもとに、国内の利用方法が検討されています。すでに新幹線の電光ニュースをはじめとして、さまざまなニュース・サービスが NewsML で表現され、適用範囲が拡大しています。NewsML は、画像、音声、動画をはじめとする任意のニュース素材、フォーマット、言語を混在して使用できます。さらに、ニュースが使用可能・取り消しであることや、修正・改版があることも表現できます。このため NewsML は、ニュースの蓄積のためのフォーマットとしてや、ネットワーク・コンピューティング環境でのニュースの作成、編集、管理、発行の補助として使用され、ニュースのライフサイクルのあらゆる場面に対応します。NewsML についての詳しい内容は下記 URL をご参照ください。

<http://www.pressnet.or.jp/newsml/newsml.htm>

XML コンソーシアムについて

XML コンソーシアムは、XML 技術のビジネスにおける実用化推進を行う国内唯一の団体です。セミナー・イベント、部会活動、情報発信、標準化推進、各業界団体との連携などの具体的な活動を通じて、さまざまなコンピュータシステムにおける XML 技術の適用に貢献してまいります。特に XML コンソーシアムでは、昨年 10 月に「Web サービス推進委員会」を発足させ、部会活動と共にその普及啓蒙を推進してきました。今後も更に Web サービスの実用化に向けた活動を続けてまいります。

以上

< お問合せ先 >

XML コンソーシアム事務局 田中 （富士ソフト ABC 内）

TEL. 03-5600-6205

E-mail. xmlcons@fsi.co.jp

URL <http://www.xmlconsortium.org/>